



平成30年 3月23日

各 位

会社名 株式会社メドレックス
代表者名 代表取締役社長 松村 米 浩
(コード番号：4586 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営管理部長 北 垣 栄 一
(TEL. 03-3664-9665)

CPN-101 (MRX-4TZT) の開発・販売ライセンス契約先変更に関するお知らせ

平成29年4月6日発表の「Cipla USAとの提携に関するお知らせ」で、インドの製薬会社 Cipla Ltd. (インド マハラーシュトラ州ムンバイ、CEO : Umang Vohra、設立 : 1935年) の米国100%子会社であるCipla USA Inc. (米国デラウェア州ウィルミントン、CEO : Nikhil Lalwani、設立 : 1984年) (以下それぞれ、「Cipla」「Cipla USA」という。)との間で、痙性麻痺治療貼付剤CPN-101 (MRX-4TZT) (チザニジンテープ剤)に関する世界的な開発・販売ライセンス契約(ただし、東アジアを除く)を締結したことをお知らせしておりましたが、この度、Ciplaグループ内の再編により、当社との契約先がCipla USAからCipla Technologies, LLC (米国カリフォルニア州サンディエゴ、CEO : Vikram Sudarsan、設立 : 2018年) (以下、「Cipla Tech」という。)に変更されることになりましたのでお知らせいたします。

Cipla Techは、新薬にフォーカスしたCiplaの100%新設子会社です。

なお、この契約先変更による契約条件等の変更はなく、本件が当社グループの平成30年12月期業績に与える影響はありません。

以 上

CPN-101 (MRX-4TZT)は、イオン液体を利用した当社の独自技術ILTS®(Ionic Liquid Transdermal System)を用いて中枢性筋弛緩薬であるチザニジンのテープ型貼付剤を製剤開発したものです。2016年度の米国における筋弛緩薬の売上は8億7百万ドル(約887億円、1ドル=110円)と推計(Cipla IMS 2016 データによる推計)されております。現在、筋弛緩薬の経皮製剤が存在しない中、経皮製剤化することにより経口剤と比較して、有効血中濃度の持続性、眠気や口渇等の副作用の低減等の利点が期待されます。

チザニジンとは、中枢性筋弛緩剤(脳や脊髄にある中枢神経に作用して筋肉の緊張を緩和する薬)の一種で、痛みを伴う肩こりや腰痛、五十肩、緊張性頭痛等の治療及び痙性麻痺等の筋肉がこわばる症状の治療に使用されています。

イオン液体とは、融点が100℃以下の塩(えん)のことで、常温溶融塩とも呼ばれています。低融点、高イオン伝導性、高極性、不揮発性、不燃性等の特徴を有しており、太陽電池や環境に優しい反応溶媒等、多方面における応用が検討されています。当社では、薬物をイオン液体化する、あるいは、イオン液体に薬物を溶解することにより、当該薬物の経皮浸透性を飛躍的に向上させることができることを世界に先駆けて見出しました。現在までに、①人体への使用実績がある化合物の組み合わせによる安全性が高いと考えられるイオン液体ライブラリー、②対象薬物の経皮浸透性向上に適したイオン液体の選択に関するノウハウ、③薬物を含有するイオン液体をその特性を保持したまま使い勝手のよい形(貼り薬、塗り薬等)に製剤化するノウハウ等を蓄積しています。これらのノウハウ等も含めた独自の経皮吸収型製剤作製技術を総称して、ILTS®(Ionic Liquid Transdermal System)と呼んでいます。